

令和7年度第2回岩手県地域公共交通活性化協議会 議事要旨

1 日時

令和8年2月4日（水）14：00～15：00

2 場所

キオクシアアイーナ会議室 803 号室

3 主な議事内容

(1) 協議事項

岩手県地域公共交通計画の一部改定について

(2) 報告事項

岩手県地域公共交通利便増進実施計画（奥州市版）について

4 主な意見等

(1) 協議事項

岩手県地域公共交通計画の一部改定について

発言者	発言内容
委員	<ul style="list-style-type: none">・ 利便増進実施計画の策定検討について、現行計画では市町村が取組を進めることとなっている。奥州市の計画とは別に調整を進めているものがあるが、市町村間の差を感じる場面があり、複数市町村にまたがる計画策定を進めていくことはハードルが高いと実感しているところ。・ 利便増進実施計画策定に関して県が関与することで検討のスピードが上がってきており、複数市町村間の温度差を解消するには市町村だけでなく県が策定に加わっていただけのありがたい。・ 今後新たに利便増進実施計画を策定する場合は、交通計画上の位置づけは今回行うので、別表の改定のみとなるのか確認させていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・ お見込みのとおり、交通計画には利便増進実施計画について位置づけを行ったため、今後他の市町村で計画を策定する場合には別表に追記をしていく形となる。
委員	<ul style="list-style-type: none">・ 交通計画の一部改定について特段意見はない。・ 制度の運用について国からの見解を踏まえ動いていくのは必要になるが、県の役割として広域的な見地から市町村とコミュニケーションをとったうえで、各市町村の交通のあり方の

発言者	発言内容
事務局	<p>見直しや、制度的な観点からのアドバイスを行っていただくことで市町村から頼られる存在となっていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域バス路線の場合、単一の市町村で終わる路線はあまりないため、市町村間をつなぐのが県の役割だと考えている。今後ともお力添え、アドバイスいただきたい。

(2) 報告事項

岩手県地域公共交通利便増進実施計画（奥州市版）について

発言者	発言内容
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・水沢前沢線、胆沢病院線の現在の平均乗車密度を教えてください。 ・今後利便増進実施計画については市町村から相談があった都度策定するのか、それとも県が中心となってエリアでまとめた計画を策定するのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・平均乗車密度については、水沢前沢線は1.7人、胆沢病院線は4.3人となっている。 ・すでに路線の再編の検討を行っているエリアがあるので、基本的にはそのエリア単位で策定予定としている。 ・利便増進実施計画の策定期間の終期は岩手県地域公共交通計画期間の範囲内となるため、今後策定の場合も終期は令和10年度となる。そのため、基本的には現在検討を行っているエリアについてはその通り進めるが、現在の計画期間中に、新たに県が主体となってエリアをまとめて広域の計画を策定する予定は現段階ではない。